

感染性胃腸炎の予防対策

●感染性胃腸炎はどんな病気？

- ✓ 一年を通して発生しますが、冬は特に患者が増加します。
- ✓ 主にノロウイルスの感染により発症します。
- ✓ 手指や食品を介して経口感染します。
- ✓ 主な症状は、おう吐、下痢、腹痛です。
- ✓ 子どもや高齢者は重症化したり、おう吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがありますので注意が必要です。

●治療方法は？

- ✓ 抗ウイルス剤はありませんので、対症療法となります。
- ✓ 水分と栄養の補給を十分に行いましょう。
- ✓ 脱水症状がひどい場合には早めに医療機関を受診しましょう。

●予防方法は？

- ✓ 特に、調理の前、食事の前、トイレの後にはしっかり手洗いをしましょう。また、タオルの共用は避けましょう。
- ✓ 患者のおう吐物や便には大量のウイルスが含まれていますので、2次感染を防ぐため、おう吐物やオムツなどの取り扱いには十分注意しましょう。
- ✓ 調理の際は、中心部までしっかり火を通しましょう。また、調理器具類の洗浄、消毒をしっかりと行いましょう。
- ✓ 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。

●おう吐物の処理方法は？

- ✓ おう吐物はビニール手袋、マスクを着用して処理しましょう。
- ✓ 消毒にはアルコールでは不十分なので、市販の次亜塩素酸ナトリウムを適切な濃度で使用してください。
- ✓ 処理後はしっかりと手洗いをしましょう。